

表面科学技術研究会 2015

「リチウムイオン電池の実情と今後の展望」 - 車載/大型蓄電システムとリチウムイオン電池 -

主催：(公社)日本表面科学会関西支部、(一社)表面技術協会関西支部、神戸大学研究基盤センター
協賛：電気化学会、電気化学会関西支部、応用物理学会、日本物理学会、応用物理学会関西支部、日本化学会、日本太陽エネルギー学会、電気学会、日本材料学会、日本真空学会、日本結晶成長学会、電子情報通信学会、エレクトロニクス実装学会、日本セラミックス協会、日本金属学会、日本材料科学会、日本分析化学会、日本エネルギー学会、精密工学会、触媒学会、化学工学会、電気学会関西支部、日本顕微鏡学会、日本機械学会、日本分光学会、高分子学会、資源・素材学会、石油学会、日本放射光学会、炭素材料学会(申請中を含む)

日時：2015年1月22日(木) 13:00~17:00

場所：神戸大学 瀧川記念学術交流会館(神戸市)

参加費：無料

リチウムイオン電池は1991年に我が国で初めて商品化され、その特徴から携帯電話やノートパソコン等IT機器のモバイル電源として広く用いられております。今後は電気自動車の電源としての用途や、風力/太陽光発電と組み合わせた大型蓄電システムへの適用が期待されています。しかしながら、電気自動車電源や大型蓄電システムへの適用のためには、低コスト/高エネルギー/高い安全性などの課題を克服する必要があります。本研究会では、リチウムイオン電池システムの実情や今後の課題等々について、各分野でご活躍されている方々にご講演いただきます。

講演プログラム：

開会の挨拶

大西 洋(日本表面科学会関西支部支部長)

1. 《基調講演》車載用リチウムイオン二次電池の最新動向

小林 弘典(産業技術総合研究所)

2. 《革新二次電池の課題と応用》革新二次電池の実用化に向けた課題

松井 雅樹(JST さきがけ研究員)

3. 《表面構造と電池特性》リチウムイオン電池の特性低下と表面科学

江田 信夫(技術研究組合リチウムイオン電池材料評価研究センター)

4. 《合成方法による表面構造》高電圧酸化物正極の合成

中村 龍哉(兵庫県立大学)

閉会の挨拶

平藤 哲司(表面技術協会関西支部支部長)

定員：100名

申込締切：2015年1月15日(木)

申込方法：日本表面科学会または表面技術協会ホームページよりリンクされた本研究会案内ページ
<http://www.sssj.org/Kansai/>でのONLINE申込を推奨します。

問合せ先：日本表面科学会関西支部 幹事 屋代 恒

〒569-1146 大阪府高槻市赤大路町14-8 株式会社リガク 応用技術センター

Tel: 072-694-0585 E-mail: yashiro@rigaku.co.jp

会場案内：神戸大学瀧川記念学術交流会館(〒657-0013 神戸市灘区六甲台町1-1) TEL078-881-1212(代表)

アクセスマップ <http://www.kobe-u.ac.jp/guid/access/rokko/rokkodai-dai2.html>

・徒歩:阪急「六甲」駅から約15~20分。バス:阪神「御影」駅、JR「六甲道」駅、阪急「六甲」駅から神戸市バス36系統鶴甲団地行、鶴甲2丁目止まり行き乗車「神大文理農学部前」下車。新幹線「新神戸」駅からタクシーで約15分。